

【素案】

学術フォーラム又は公開シンポジウム
「安全保障と学術の関係：日本学術会議の立場」

1. 主 催：日本学術会議 又は 日本学術会議安全保障と学術に関する検討委員会
2. 日 時：平成 29 年 2 月 4 日（土）13：00～17：00
3. 場 所：日本学術会議講堂
4. 委員会の開催：開催予定
5. 開催趣旨：日本学術会議は 1950 年、1967 年に「戦争を目的とする科学研究」を行わないとの声明を発した。近年、軍事と学術が各方面で接近を見せる中、軍事的利用と民生的利用、及びデュアルユース問題との関係をどうとらえるかや、安全保障にかかわる研究が学術の公開性・透明性に及ぼす影響などをめぐって審議すべく、「安全保障と学術に関する検討委員会」が設置された。同委員会の中間報告を受けて、内外から意見を聴取する目的で、本シンポジウムを開催する。

6. 次 第：

13：00 挨拶

挨拶 大西 隆 *（日本学術会議第三部会員、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

<第 I パート：審議状況について>

進行 大政 謙次 *（日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授）

13：10 委員会中間とりまとめの状況報告

杉田 敦 *（日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授）

13：40 委員会委員からの意見発表

小林 傳司 *（日本学術会議連携会員、大阪大学理事・副学長）

13：55 委員会委員からの意見発表

安浦 寛人 *（日本学術会議第三部会員、九州大学理事・副学長）

<第 II パート：指定コメンテーターからの発表>

進行 小松 利光 *（日本学術会議第三部会員、九州大学名誉教授）

14：10

<会員>（日本学術会議第〇部会員、〇〇所属・役職名〇〇）※1

14：20

<会員>（日本学術会議第〇部会員、〇〇所属・役職名〇〇）※1

- 14 : 30 <連携会員> (日本学術会議連携会員、〇〇所属・役職名〇〇) ※2
- 14 : 40 <連携会員> (日本学術会議連携会員、〇〇所属・役職名〇〇) ※2
- 14 : 50 <経済界やマスメディアなど> (〇〇所属・役職名〇〇) ※3
- 15 : 00 <経済界やマスメディアなど> (〇〇所属・役職名〇〇) ※3

- ※1 具体の登壇者は、総会等の会員の発言などを参考に本委員会役員において決定。
- ※2 具体の登壇者は、会員・連携会員の推薦(自薦含む)を踏まえ、本委員会役員において決定。
- ※3 具体の登壇者は、本委員会役員において調整の上、決定。

<第Ⅲパート：ディスカッション>

- 進行 杉田 敦^{*} (日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授)
- 15 : 10 総合討論
- 17 : 00 閉会 挨拶
- 花木 啓祐^{*} (日本学術会議第三部会員、東京大学大学院工学系研究科教授)
- (*印の登壇者は、主催委員会委員)